



学校評価特別号

令和2年3月

学 校 だ よ り

京都市立西大路小学校

校 長 櫛山 雅亮

TEL 313-0501

FAX 313-4912



令和元年度学年末学校評価

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートを分析し、令和元年度の取り組みについて評価します。

保護者アンケート		重要度				実現度				ニーズ度			
		29年度	30年度	令和元年前期	令和元年後期	29年度	30年度	令和元年前期	令和元年後期	29年度	30年度	令和元年前期	令和元年後期
確かな学力	学校が、「わかる」「できる」「楽しい」授業をめざしていること	6.7	6.9	6.9	6.9	4.9	5.2	5.6	5.5	21	19	17	17
	学校が、コミュニケーション能力育成のため、取組の充実を図っていること	6.4	6.8	6.8	6.8	4.8	5.3	5.3	5.6	21	18	18	16
	学校が、家庭での読書を推奨していること	6.1	6.1	6.3	6.1	4.3	3.6	5	4.7	23	27	19	20
	学校が、学力を高めるために授業と家庭学習をつなげようとしていること	6.2	6.7	6.5	6.5	4.5	5.1	5.1	5.2	22	19	19	18
豊かな心	七条中エリア4校が連携して、ルールやマナーの大切さを指導していること	6.4	6.1	6.7	6.6	4.5	4.8	5.1	5.2	22	20	19	18
	七条中エリア4校が連携して、いじめや暴力を許さない学校づくりに努めていること	6.5	6	6.8	6.8	4.3	4.7	4.9	5	24	20	21	20
	七条中エリア4校が連携して、「あいさつ」の習慣化に取り組んでいること	6.6	6.4	6.6	6.6	4.9	5.3	5.3	5.7	21	17	18	15
	七条中エリア4校が連携して、自尊感情を育む教育を大切にしていること	6.5	6.1	6.7	6.7	4.5	5.4	5	5	23	16	20	20
	学校が自主性を育むために、児童会活動や学校行事等の特別活動の充実に取り組んでいること	6.4	6.5	6.4	6.4	4.8	5	5.4	5.4	21	20	17	17
健やかな体	学校が、家庭へ積極的に呼びかけ、基本的な生活習慣の確立に力を入れていること	6.2	6.3	6.4	6.1	4.9	5.3	5.6	5.6	19	17	15	15
	学校が、健康な体を育むために、体力づくりや遊びを推奨していること	6.4	6.5	6.6	6.5	4.8	5.2	5.5	5.3	21	18	17	18
	学校が、安全教育に力を入れていること	6.5	6.5	6.7	6.7	4.8	5	5.5	5.7	21	20	17	15
	学校が、健全な心と体を育むために、薬物乱用防止教室や情報教育、保健指導に取り組んでいること	6.4	6.7	6.7	6.7	4.7	5.3	5.1	5.5	21	18	19	17
地域とともに	学校が、地域の伝統を子どもに伝える機会を作っていること	6.1	6.2	6.2	6.1	5.9	6	6.3	6.3	13	12	11	10
	学校が、教育課程の中で地域の特色を取り入れ、地域と連携して教育活動を行っていること	6.1	6.2	6.3	6.2	5.7	6	6.3	6.3	14	12	11	11

アンケート結果より、見えてくること

「重要である、よくできている」を7、「やや重要である、出来ている」を5、「あまり重要でない、あまり出来ていない」を3、「重要でない、出来ていない」を1として平均を算出しました。ニーズ度は、《重要度×（8－実現度）》です。最高ポイントは49になります。児童アンケートについては、実現度だけを答えています。

保護者アンケートを見ますと、前期と比べると、多くの項目で、実現度の数値が増加しています。そんな中で課題として、「読書の推奨」「体力づくり・遊びの推奨」が挙げられます。子どもたちを取り巻く環境が変化し、三間（時間・空間・仲間）の減少やゲーム・タブレット・スマートフォンなどの使い方にも関係していると推測できます。高学年になると習い事などで多忙になり、家庭での読書時間を確保しにくい現状があるとも考えられます。しかしながら、児童アンケートにおいては、「パソコン・ゲーム・スマートフォンを使う時の約束」の実現度の数値が回復傾向にあります。引き続き、学校と家庭で連携して、使い方について子どもたちと話し合うことが大切です。

子どもたちに「自己肯定感」を育むことも学校教育の大事な目的の一つです。前期アンケートでは、自己肯定感に関わる【確かな学力】の第2項目「すすんでじぶんのいけんをはっぴょうしたり、ぶんしょうでかいたりしていますか」が5.3ポイントから4.8ポイントに低下していることを受け、授業の中で、自分の意見に自信をもって発言できるよう、授業展開を工夫したり、全員が交流前に意見をもったりするこ

とができるようにしていくことで改善を図りました。その結果、同項目の数値が4.8ポイントから5.2ポイントに増加しました。保護者アンケートにおいても【確かな学力】の第2項目「学校がコミュニケーション能力育成のため、取組の充実を図っていること」の実現度が5.3ポイントから5.6ポイントに増加しています。自分の考えや思いを発表できる場を多く設定していくことで、今後も自分に自信をもてる力を育んでいきたいと考えています。

【豊かな心】の第3項目「じぶんからすすんで、きもちのいいあいさつをしていますか」と第4項目「じぶんがすきだ。じぶんはやくにたっている。じぶんにできるきがする。とよくおもいますか。」は、ポイントが前期からさらに上がっています。地域や学校の中で、日常的にあいさつを交わしたり、行事に参加したり、地域学習に出かけたりすることを通して、自己肯定感が育まれていることは大きな成果であると感じます。とはいえ、まだまだ限定的なあいさつであるとも感じています。互いに気持ちよいあいさつを目指して、取り組んでいきたいです。

【健やかな体】については、ご家庭と連携しながら、安全教育及び体力向上の取組を今後も学校教育活動にしっかりと位置付けて啓発を進めていきたいと思っています。

最後に【地域とともに】については、日頃から地域の方々に見守られ、安心して過ごすことができるため、重要度・実現度ともに非常に高く、保護者も児童も満足していることが、その数値からも明らかです。

児童アンケート		実現度			
		29年度	30年度	令和元年前期	令和元年後期
確かな学力	じゆぎょうはよくわかりますか	6.1	5.7	5.9	5.7
	すすんでじぶんのいけんをはっぴょうしたり、ぶんしょうでかいたりしていますか	5.9	5.3	4.8	5.2
	いえで、まいにちほんをよんでいますか	5.1	5	4.6	4.2
	いえで、まいにちがくしゅうをしていますか	6.2	5.6	5.9	5.8
豊かな心	ルールをまもり、マナーをこころがけていますか	6.3	6.3	6.3	6.2
	ともだちをたいせつにしていますか	6.6	6.5	6.6	6.6
	じぶんからすすんで、きもちのいいあいさつをしていますか	6.1	5.7	5.9	6
	「じぶんがすきだ。」「じぶんはやくにたっている」「じぶんにできるきがする」とよくおもいますか	5.4	5	5.2	5.3
健やかな体	かかりのかつどうやがっこうぎょうじにすすんでとくんでいますか	6.3	6.2	6.1	6
	「はやね・はやおき・あさごはん」など、きそくだしいせいかつができていますか	5.6	5.4	5.4	5.3
	じぶんからすすんでからだをうごかしていますか	6	5.9	6.1	6.1
	いつもあんぜんにきをつけて、とうげこうしたり、あそんだりしていますか	6.5	6.3	6.3	6.5
地域とともに	パソコンやゲーム、けいたいでんわやスマートフォンなどをつかうときは、うちのひとときめたやくそくをまもっていますか	6.6	6	5.6	5.7
	ちいきのおまつりやぎょうじに、さんかしていますか	5.9	5.9	6.1	5.9
	ちいきのかたにおせわになるがくしゅうにせっきよくてきにとりくんでいますか	6.3	6.1	6.1	6.3